



録画配信はこちら

このままで良いのか、庁舎一本化問題

Q 住民説明会を開いて欲しいとの声を、無視するのか

A 今後も住民説明会は開催しない

問 庁舎の一本化は、現在どう考えておられるのか、拙速ではないか。

答 (町長) 庁舎等公共施設の最適配置については、町の方針をまとめるまでの経緯、経過があることをご理解いただいていると思う。また、住民説明会については、今後も開催しない。

問 数多くの議員も庁舎一本化賛成、もしくは庁舎一本化やむなしと考えている。しかし残念ながら町長は、任期中に庁舎を一本化しなければ・となり、主役は町民でなければならぬのに、いつのまにか町長になってい

答 (町長) それぞれの議員の考えに基づいてのことだと考える。

問 3割還元キャッシュレスとデジタル改革について

答 (町長) 当町のデジタル改革におけるキャッシュレスキャンペーンの位置づけは、

問 共同通信社の調査によると、この事業はスマホを持っていない人、扱いに慣れない人や高齢者からは、公費を投入するのにより一部住民にしか恩恵を受けず、公平性に欠けるといふ批判もある。事業終了後しっかりと調査・検証をお願いする。

答 (町長) この事業の予算額は、731万4,000円。財源は地方創生臨時交付金を2,700万円充当しており、想定している経済活性化効果は約8,600万円を見込んでいる。

愛知川公民館・町民センター愛知川の解体

Q 愛知川武道館・体育館と一体での再検討を

A 4施設一体での再検討はしない

問 両施設については令和5年を目途に解体し、5年から10年程度は公園とする。これはその後検討される愛知川武道館、愛知川体育館と一体としての地域開発を考

答 (町長) 現在、福祉施設の拠点が「秦荘いきいきセンターと愛の郷」に重複している。ともに築20年を超える施設であり倍の費用がかかることになる。愛の郷の利用登録者は現在46名で、一日の利用者は12名であり、送迎を含めた体制を作る。

問 蚊野にある旧秦荘中央公民館も数年前に取り壊され公園となっている。利用状況はどうか。



愛知川公民館

問 まちづくりの観点で

答 (町長) 公共施設の集約は単に合併により同じ施設が重複している。維持コストがかかるという財政的な問題だけでなく、今後の人口推移・高齢化率や町民の生活などを総合的に考えたまちづくりの観点で行うべきである。



愛の郷



録画配信はこちら

問 愛の郷の「介護機能」を集約することについて

答 (町長) 当施設は日頃から多くの町民が生涯学習の場として利用しており、急いで解体する必要はない。この後に検討する愛知川武道館・愛知川体育館と一体で再度検討してはどうか。

問 人生100年時代、少子高齢化、多様性社会における生涯学習を考えた場合、これら施設の解体は問題とならないか。

答 (町長) 行政機能の配置の最適化は、町の持続可能性を確保し、住民の暮らしを守るとともに、活気ある町であり続けるために取り組むものである。